

みんなでつくる田名の会 第3回全体会 議事概要

日 時：平成18年9月16日（土） 午後7時～午後8時30分
会 場：田名公民館 大会議室

1 「みんなでつくる田名の会」での今までの取組みについて

資料「みんなで作る田名の会」に沿って、この会の設立経緯、活動内容についての説明があった。

2 情報紙の発行について

配布した情報紙案に沿って内容説明があった。

情報紙の名称について、企画会議で決めた「みんなな」にすることを承認を得た後、その題字（タイトルロゴ）について、6つの案の中から参加者全員に挙手により選定を行った。

3 これからの検討テーマについて

代表より、過去の企画会議での話し合いの結果を踏まえ、「防災」を当面のテーマとした旨、提案があった。

続いて田名地区防災専門員より、広域避難所、一時（いつとき）避難所及び避難所の3種類の避難所の違いについて説明があった。また、配布した「家庭で準備しておく非常用品一覧表」を用いて、非常時に備えて家庭で準備しておく物品について、参加者自身で防災知識の確認を行った。

その後、防災についての情報交換・意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

- ・滝、清水、塩田などの自治会では、避難場所である田名小学校や相模田名高校まで遠い。どこに水や食糧があるのか、具体的な事項について情報紙などで伝えるべきではないか。
- ・避難場所の倉庫など、あてにならない部分も多いだろうから、「自助努力」をテーマにしてみてもどうか。
- ・重機やジャッキなど、震災時に役立つものを自治会では備えているのか。
自治会長3名（望地・陽原・塩田）：ジャッキは備えていない。大げさなものではなく、リヤカーや毛布など身近なものが必要だと考える。
- ・四ツ谷自治会では、自動車整備振興会から60台程度、自動車用のジャッキをいただき、配備している。他の各自治会にも配備し、自治会館に行けばジャッキがあることを周知できれば、災害時に役に立つのではないか。
- ・ひばり放送がよく聞こえない。電話でも聞けるが、災害時にはパニックになるのでは。この会では、このようなことを市役所に確認し、提案していきたい。
- ・一時避難場所に避難するとすれば、誰が指揮を取るのか。責任者は誰なのか。一時避難場所が単位自治会に2つ3つあるところもある。
- ・下田名（滝、水郷田名、水郷田名団地）の一時避難場所は「相模川ふれあい科学館」だが、危険な場所にある。誰が指定したのか。
一時避難場所は自治会が指定したものである。危険であれば自治会で動かせるようだ。
- ・平日昼間などに災害が起きた場合、特に成人男性が仕事等で地元にはいない事が想定される。誰が地域を守るのか。
- ・各自治会には自主防災隊が組織されている。これを活用すれば良いのでは。
- ・自主防災隊は、災害時に動けないだろうと推測している。平日昼間も地域にいる人たちを中心に、別の組織を作ることも検討しなければならない。
- ・普段から声かけ運動・挨拶運動などを行って、隣人や周辺住民とのコミュニケーションを取っておくことが、災害時に役に立つのではないか。
- ・特に地震などの場合、弱者支援が課題となるが、誰がどこにいるのか把握できない。
- ・民生委員としては、プライバシーの問題があり、どこに高齢者がいるのかなど、個人情報

報を提供できない。この扱いが課題となっている。

- ・市職員は、田名の細かい部分まで把握できているのだろうか。
- ・自治会の加入率が低いようなので、自治会加入率を上げて、地域全体として弱者対策を考えていく必要があるのではないか。

4 その他意見等

- ・消防団の加入者が少ない。若手の方を入れ、経験することで、少しずつ地域の防災意識を上げていきたい。
- ・子供たちへの「あいさつ運動」を広げていき、防犯を通じて明るい田名にしていきたい。

5 今後の予定について

公民館窓口に、みんなで作る田名の会への意見や情報紙に載せたい記事等を投函するポストを設置する方針が代表から伝えられた。

次回全体会は、11月22日(水)午後7時から、田名公民館大会議室にて行う予定とし、詳細については、別に送付することとした。

以 上